



岩槻区 川通中学校 教頭 中村 英雄

1 はじめに

本校は、開校66年目の地域に根付いた歴史と伝統のある学校で、現在は学級数8、生徒数277名の小規模校である。生徒は、「一生懸命はかっこいい」の合い言葉を代々引き継ぎ、学校行事、部活動等に情熱をもって臨み、元気に生き生きと活動している。

また、本校では、東日本大震災の教訓を風化させないため、昨年度、学校、地域、保護者による川通中学校安全対策検討委員会を立ち上げ、話し合いのもと、「自分の命を自分で守る生徒」の育成を目指し、安全教育の強化に努めている。

2 具体的な取組について

(1) 文武両道を目指した取組

①読書活動の推進

本校の図書委員会では、独自のキャンペーン等を展開していることから、図書室は小さいながらも昼休みや放課後、本を借りる生徒であふれている。このことが認められ、本年度は文部科学大臣から「子どもの読書活動優秀実践校」として表彰された。

②部活動の推進

小規模校のため、部活動の数や部員数等で制限がある中、どの部活動も熱心に活動している。特に、吹奏楽部は昨年度、全国大会マーチングバンド・バトントワーリング部門で華やかな演技を披露し、銀賞に輝いた。



(2) 安全教育の強化を目指した取組

①全校生徒によるAEDの実習

本校では、消防署や警察、青少年赤十字などの関係機関と連携しながら、避難訓練をはじめとするさまざまな体験活動を実施している。特に、保健体育の授業においては、1年生から3年生までの全校生徒が応急手当普及員の資格をもつ教諭の指導の下、AED実習を行っている。

②スケアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室の実施

本校は、全校生徒が自転車通学という特徴があることから、埼玉県警察本部と連携して自転車の交通安全教室を実施した。生徒はスタントマンによる交通事故の再現場面を見ることにより、事故の怖さを知るとともに、交通ルールを守ることの重要性を再確認した。



3 おわりに

「明るいまいさつと笑顔があふれ、生徒が生き生きと活動する『元気な学校』」づくりの一環として、上記の他にも、平成23・24年度は、市の研究指定を受け、「読み・書き・そろばん」基礎学力向上にも取り組んできた。今後も生徒一人ひとりが夢の実現に向け、充実した学校生活を送れるように、教職員が丸となって特色ある学校づくりに邁進していく。